2013 年 12 月 9 日

国立大学法人島根大学長
小林　祥泰　殿

島根大学職員組合
中央執行委員長　田中　則雄

要 求 書

年俸制についての性急な方針決定の停止を要求します

年俸制についての１１月評議会での説明と、その後の１１月末以降の塩飽理事の各学部訪問による提案については、その内容が職員に大変大きな不利益を与え、将来についての安心を損なうものです。これにより本学から多くの優秀な人材が流出するなど、大学の存続、発展をも妨げる重大な問題が生じることが予想されます。

12 月 4 日に開催された職員組合の緊急集会においても、数日の周知期間にもかかわらず、70 名超の参加者があり、多くの構成員から問題点が指摘され、危惧、反対意見が表明されました。その後も学内の様々な部局の構成員から、批判の声が上がっています。

このような状況の中、充分な議論のプロセスを経ないまま、年俸制導入の決定がなされることのないよう強く要求します。

以上